

「ぼ～れぼ～れ」通巻 401 号所載

## お風呂気分のトイレ

三郷のちいさなつどい 11/16(土) 13:30～

三郷市文化会館 視聴覚室 参加者18名

自己紹介の後、クリニックふれあい早稲田の大場先生から、NHKの「ためしてがってん」で放映された脳の活性化について話してもらいました。「覚える力」は高齢になっても衰えないが、「思い出す力」が衰える、何かの場所と一緒に覚えると引き出しやすいということです。

Mさんは今72歳の夫が、4年前に病院でアルツハイマーと診断されて薬を飲んでいたが、デイサービスを利用することになって、改めて検査を受けたら、前頭側頭型の認知症と言われた。そして薬はないと言われ、現在は何も飲んでいない。風呂に入るのを家では拒否するので、デイでなんとか入れてもらっている。また着替えを手伝うと怒るので困るが、何かよい方法がないかという質問で、Tさんから歌をうたいながらやると気が逸らされてよいということでした。

他の人からも、歌はいい、歌は流すと表情が変わるなど出されました。また誰でも自分の失敗を見られたくないという気持ち働くので、「ありがとう」と言って上げるのもよいという意見や、大場先生からも家族が早くしてほしいと思うと、つい表

情や態度に表れてしまう、そうすると本人はせめられたと感じて頭に来てしまい、それを抵抗することで表わすわけで、本人の気持ちを考えながら介護することが必要と話されました。また歯磨きはどうしたらよいかという質問があり、訪問の歯科医に来てもらうのはどうかとアドバイスがありました。